



トピックス

- とうとう梅雨入り
- 田んぼにおける恋と愛？

- 牛の保存食。巻いて巻いて
- 今年も植えます。
- O2Farm の菜園もだんだんにぎやかに

とうとう入梅ですね。皆さまいかがお過ごしでしょうか。入梅までほとんど雨が降らなかったため、休みなしに働いていた勵志&耕太コンビ。1日くらい休んだって大丈夫なのですが、晴れているとやはり「あれもしておこう、これもしなきゃ」と思ってしまうのは貧乏性！？この1ヶ月のできごとをご紹介します。



5月16日にコイが、そして21日にはアイガモの雛が到着。コイはさっそく田んぼに離します。昨年と一昨年はサギに苗を踏み倒された苦い経験から、今年は田んぼに釣り糸を張り巡らせて起きました。おかげでサギの被害は少なかったのですが、めうえ(補植)や草取りがタイヘン！透明の糸なので、うっかりしているとサギより前に私たちが引っかかってしまうのです。特に下を向いて作業することが多いので、なおさらひっかかりやすい。分かっちゃいるけど...ってやつですね。



アイガモの方は、3週間ほど小屋の中で育てます。ビニールハウスの中に育雛(すう)場所を設け、夜は寒くないようにと外敵除けのため、電球をつけておきます。今年のアイガモはなぜか黒い。アイガモはもともとアヒルとカモを掛け合わせているのですが、カモの血が濃いのかな？何しろ黒みがかっている上に、あまり人になつきません。アヒルに近い種類は体が大きくなるので苗を倒してしまったりするようですが、もともと家畜として改良された種類なので人懐っこいのが特徴。逆にカモは野生の種類なので人になつきにくい、というわけです。何はともあれ、彼らこそが今年の草取り部隊。がんばってもらわなければ！田んぼにネットを張って準備万端。精米日前後には田んぼに放す予定です。



稲作以外にも、この季節は牛に食べさせるための牧草を刈り取って乾燥させる作業があります。畑に植えてあったイタリアンライグラスという牧草を刈り取り、3日ほど続けてかき混ぜると水分が飛びます。これをロールにしてラップにくるめばできあがり。阿蘇のあか牛は、1年のほとんどを広々とした放牧地で過ごしますが、出産前後や冬の2、3ヶ月を牛舎で過ごすため、こうした「保存食」が必要なのです。

夏と言えばそう、キュウリ畑の準備も着々と進んでいます。畑を耕して畝をつくり、マルチといわれるビニールを張ります。これは雑草防止と保湿のため。そして支柱を立ててネットを張れば準備完了。あとは苗が届くのを待って定植します。今年こそ台風によられないといいのですが、こればかりは予測が付きません。O2Farmのキュウリ、今年は7月後半から収穫が始まります。



こうした農作業のほか、菜園の手入れにも余念がない耕太。玉ねぎを収穫して軒下に下げたら、がぜんと農家らしくなりました。今年の玉ねぎは大きさも味も上出来。教科書を読み、ばあちゃんや近所の先輩たちに教わりながら、ジャガイモや里イモの手入れをしたり、ナスやピーマン、トマトの苗を植えたり。さらに昨年新聞記事などで紹介した、タイ王室ご用達(！)「Ohto カボチャ」も種を蒔きました。たくさん獲れたらみなさんにもおすそ分けできるかもしれません。我が家も扶養家族が増えたので、自給率を上げないとね。O2Farm 菜園プロジェクト、耕太父ちゃんががんばれ！



里親募集中だった愛犬ミミの子たち。4匹とも無事に引き取られていきました。可愛がってもらっているようです。よかったよかった。

お天気続きだったので、子供たちもほとんどの時間を外で過ごしていました。庭の用水路で水遊び。お茶を届けに田んぼに行くと、まっしぐらに田んぼの中へ。畑に行けば泥を口の中に放り込む。1日に3～4回着替えるのは当たり前で、当然その分だけ洗濯物が...、しかもダブルで！どんどん伸びていく雑草が気になりながらも、

私が農作業に復帰できるのはまだ先のことになりそうです。

湿気がうっとうしい季節ではありますが、作物にとってはなくてはならない梅雨。雨の日の楽しみを見つけて、今年も元気に乗り切ってください。それでは皆さまどうぞお元気で。